

第3期 熱海市図書館協議会 第6回議事録

開催日時 令和5年2月16日(木) 午前10時

開催場所 熱海市立図書館5階第1会議室

出席者 【出席委員】太田委員・山口委員・石橋委員・関口委員・春日委員
【事務局】図書館長・図書館管理室長・図書館管理室主幹

会議内容

(室長)

初めに、資料の確認をさせていただきたいと思います。実行プランの資料、会長からいただいた議題、それと次第があると思います。本日の資料は以上となります。

では皆さんこんにちは。本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。定刻より若干早いですが、全員集まりましたので、令和4年度第3回協議会を行います。はじめに会長よりご挨拶をお願いいたします。

(会長)

本当にお忙しい中集まっていたいてありがとうございます。お忙しい中集まっていたいたのでそれなりの成果を出さなきゃいけないのですが、なかなか成果を出せない2年間だったなと。図書館協議会をどのように運営していったら、図書館にとっても、市民にとっても、いいものになるか、なかなか答えが出ないという2年間であったという感じなんですけれど。

前任の協議会による答申はですね、司書を増やして欲しいというか、他市町と比べて熱海市はその辺、遅れているのではないかっていう答申があって、それで司書も増えましたよっていうことだったんですが、2年間という任期で一体何ができるかっていうことを考えたときに、やっぱり具体的なテーマに絞り込んで、現実的な答申、或いは提言を行うということなんだろうなと考えまして、それで学校との連携をテーマにしたんですよ。

昨年度第1回は、教育長が遅れてきて、図書館協議会に対して全く何の関係もないアンケート結果を出して説明する。それを聞いて、この教育長は我々協議会に何を求めているのかなってという疑問を最初に大きく持ちました。1回目はそれだけで終わりと。2回目、私が強い方針を出して、こういうことではいけませんよ、ということで皆さんの合意を経て、それが2021年の11月ですよ。それで皆さんに協議会以外でも、家庭で仕事をしていただくことになりましたが、意見を出していただいてそれを2022年1月25日の委員会でまとめて図書館に出した、ということですね。それもかなり急なことだったんですけど。館長から諮問或いは提言を1年目に出して、2年目に見届けて欲しいという、そういう要望に応えたものだったわけですよ。だけど、2年目は一体何ができたのかなあというふうに思います。

今年度の7月13日に我々協議会として第4回目の会議を開きまして、せっかく力をこめて皆さんの意見をまとめさせていただいたつもりなんですけれど。8ページから10ページ弱にまとめた提言のことで。それに対して、教育委員会とそれから図書館とのコミュニケーションのとり方は実に難しいと感じました。もともと諮問委員会ですから、これは諮問されて、それに答申するという機能しか持ってないんですよね。ましてや前協議会で答申出したばかりですから、もう1回答申出すのはちょっと。いや控えて欲しいという図書館長からの要望で提言に押さえたわけですよね。で提言して、どういう反応があるかなと思っていたんですけど反応はあまり感じられない、そういう2年目だったんです。しかし個人的な頑張りにより、●●さんから寺子屋で図書館とのコラボが実現したというような、現実的な実績が報告されましたし、図書館としてはブックバスステーションを追加できたとか、そういうこともありましたけど、全体としてやっぱりその協議会が意見を出すんだけど、それはどう図書館に受けとめられているのか正直言ってわからない。感触がなかなか感じられない1年間でした。

例えば、第4回に委員より、図書館のポスターが止まってるというご指摘があったんですけどこれは対応してくださったのですか。

(委員)

私答えてもいいですか。こんな資料の活用はできるよっていう、本の一覧を学校に置いているんですけども、それが平成24年で止まっているっていう話をしたはずなんです。そしたらまずは修学旅行編ということで、一応中学校の方完成しましたので中学の方にはメールで送ってもらっていますので、少しずつ進んでいるかと思います。すみません報告しませんでした。

(会長)

そういうふうに意見を出してそれが、現実化されることを目指してる協議会ですからわずかでもいいんです。

10月には第5回の図書館協議会として、熱海中学校と第二小学校の図書室を視察しました。協議会として、何とか学校或いは学校教育で、市立図書館を活用するようなことを考えて活動してるっていう言い方したら、校長先生も教頭先生もびっくりなさってるんですよ。私の受けとめ方は、もっと強く言えば、外部から入ってきて勝手なこと言わないでみたいな、そういう受けとめ方をされちゃったんですね。やっぱり学校側も、何かと忙しくて、図書室や図書館をどう機能させていくかっていうようなことは、優先順位が低いなあ。読書は大事ですよっていうことを言いたいんだけど、朝読書も今年度から廃止しましたということでした。だからなかなか大きい方針で動かすっていうのは難しいので、だったらもう単発的に小さなイベントで突破口を開いてみるしかないかなあと思って。それからせっかくタブレットが配布されているので、それをどういうふうに有効活用していくかっていうことは、●●さんが積極的に取材なさ

っていましたので後でできれば報告していただければ。●●さんからは詳しい訪問記録を送っていただきましたのでね。それから読書は大事だ、人生の糧になると言っても、なかなか受験勉強を控えていっぱいいっぱいな中学生に図書館に興味を持っていただくには、ちょっとイレギュラーかもしれませんが学習参考書なんかを図書館で買って、図書館に行けばこういうのが手に入るというような仕組みもいいのかと。そのときの印象として持ちました。それから小学校行かまして、教頭先生が非常に図書館、学校図書館に理解がある方で、積極的に対応してくださったんですが。ただ、いつも思うのはそういう個人的な頑張りに支えられていて、組織として或いは制度として、持続的な活動の活性化ができるかっていうと、そこはよくわからない。それから、図書室の一つのコーナーに、教科書に掲載されている作品コーナーがあって、これはとてもいいなあと思いました。こういうところからでも教科書を発展させる勉強をしてくれるのではないかな。ですから、やっぱり図書館で教科書研究をして、教科書にこういう風に載っているのだからその本を買って、どの学校でも使えるようにしたらどうですかっていうことを提言したんですけど、これはぜひやっていただきたい、そうすると小中学生と市立図書館の距離が縮まるんじゃないかなとそんなふうに思いました。

それでももう今日、2月16日が第6回ということですね。だけど実際には3回だけですよね。年3回だけで、せっかく選んでいただいたから応えようと思うんだけど、なかなか難しいというのが2年間でした。今日最後は、欠席された委員の報告等それを含めて、基本実行プランについては、館長がお話したいということなんですけど、その前に、皆様お一人お一人から前回の学校図書室の視察も含めて、この2年間活動していただいてどういう感触を得られたのか、それから、次の協議会の人たちにはこういうことを我々の反省を踏まえて伝えていったらいいのか。事前の打ち合わせもなく恐縮ですが、●●さんから。お一人お一人にちょっとまずお話しする機会を設けさせていただきたいと思います。どうですか。

(委員)

恥ずかしながらレポート出しといて、自分で控えをもってきていないというか。

(館長)

レポートは皆さんとこ行ってないです会長と●●さんの2人の中の会話ですので。

(会長)

口頭でいろいろ今、お伝えいただければ。

(委員)

そうですね。

2年間やらせていただきまして。忌憚のないところで言わせていただきまして、何で私が選ばれたのかって、そもそもよくわからなかったのは本音です。とりわけさっきからありまし

たけど、やっぱり時間の中で集約して何か具体的に一つできるテーマっていうことで、学校との連携っていうのを打ち出されたときに、ますます自分は何ができるのかなんて思いながらも、できることやろうというふうに思って、うん、で、正直やっぱりこれだけの回数で何かいろいろ議論を重ねるっていうんですか難しかったなっていう、もっと言うと、どなたが何をやって、何を考えてるのかっていう、正直ちっともわからないって、皆さんもそうだろうと思ってると思うんですけど。ちょっとよくわからないっていうのがあって。自分はこれまで何かいろいろやってきて、それが何かこう役に立つようなことってあるのかなと思いつつも、ちょっと不調に終わった2年間だったっていうのがある。

(会長)

はい、ありがとうございます。

(委員)

はい。学校の現職の教職員として、こちらに選ばれてこさせてもらっていて、学校との連携っていうテーマになったときに、いや私何ができるかなっていう、ずっと考えさせられる2年間だったなあと思います。学校の中にいると正直、それはできるなとか、それはできないなんてこと、もちろんあるんですけど、それは思いつかなかったなとか、できそうだなっていうことも、いくつかアイデアをもらったかなと思います。それ学校でやってるからそれを市立図書館に拡大すればいいのかとか、そういうことを踏まえたことをうまくとりあえず学校図書館部会っていうのが教職員の中にあるので、その先生たちに発信して、そこから学校に、広げていければいいのかな、何か微力ながらできるかなって。委員を離れた後も、もしかしたら何かできることがあるんじゃないかなっていうふうに今は考えています。

(会長)

ありがとうございます。先生は、前の協議会からも継続していらっしゃるので、他のメンバーよりも協議会のあり方について、図書館協議会としてどういう姿が効果を発揮できるかっていうようなことはちょっとご意見いただくとありがたい。

(委員)

その前はとにかくこの中の組織のこと、司書さんの数が足りないという、本当にこの中に特化したことだったので、勉強するで終わっちゃった感じはあります。今回は一番自分に近いところがテーマだったので、それでも勉強の部分が多かったかな。はい。前回は、そこまでこう思いますっていうお話はできなかった感じがします。インプットの方が多かったような。

(会長)

●●さんいかがですか。

(委員)

はい。私も生まれも育ちも熱海のものですから、もう図書館は小さいときから利用していたところですよ。私の好きな場所なんですけど。やっぱりいろいろな現状をお聞かせいただいて、今は図書館離れとかあるんだなあとか。私、結局は、社会教育委員やめたのもこの実行プランについてどうのって方針について話し合うの苦手ですし、具体案をやるのはいいんですけどね。ですからそういう恐縮した場において意見交換というよりは、本当にその、公民館寺子屋の塾長としてできることは、自分がやれることは何でもやってやろうとは思いますが。できることなら何でも協力したいというほんと常に思いました。それで結局熱海市の行政ってみんな縦割りで、別会社なんです。私のやってる仕事も、土曜日学習と公民館寺子屋の塾長をやってるんですけど、全く知らないんですよお互いのこと。連携出来たら良いプレーができるのにな。

(会長)

ねえ。本当に聞いてて耳が痛くなるけど、ただ、それと同時に、やっぱり大きな学校教育とかね、そういうのを動かすとなったら、やっぱり個人個人で何かやってるのか現状なんですけども、それをうまくつないで、組織として何らかの制度を作ることがやっぱり必要なんです。そうすると、現場で活躍してる方が、やっぱり会議嫌いなのはよくわかりますけど、出かけていって、そこで現場がわかってないっていうのは意味のない議論ですよ、みたいなことを言い続けていただくのが大事なことかなあと思いますが。

だからこの図書館協議会についても、全国のほとんどの図書館協議会は、開催してますよと、それが一番の存在理由だみたいなことが報告書という論文に書かれてしまっているわけですよ。年3回だと。一体何ができるんですかと。結局、他の地方自治体と同様に図書館協議会というものを持っています、開催してますというアリバイづくりに私たちは利用されたのかなと。悪い言い方をすればね。結局、提言を出しても、リアクションがほとんどないわけで。結局会議を開いたり、その他書類を作ったり、それでは意味ないのですよ。やっぱり現場でどうやって現状を変えていくかっていうところまで道筋を立てるようなことで図書館協議会を使ってもらわないと、と思います。すいません。私ばかりしゃべって。●●さんいかがでしょうか。

(委員)

私は学校司書の立場で、こちらに選んでいただいて、参加させていただいたと思ってるんですけども、申し訳ないです私も本当にこういった場に本当に経験がなくて、お話いろいろ聞かせていただいて、とても勉強になったんですが、私はついていけないっていうふうに。もうどう理解していいのかわかんないことがいっぱいっていう感じで。ほんと大変申し訳なかったなと思ってるんですけども。ただ、学校司書として、図書館の本とかを授業の時に必要ですよって先生から言われて、何回かお借りしたりとかして、使わせていただいて、とても助かってるんですけども、その程度というか、むしろ自分たちの学校図書館にいかにか子供たちを呼

ぶかっていうのがもう第一なので、それがなかなかやっぱり、私の場合はちょっとうまくいなくて苦労してるところで。狭い視点でしか見れないので私にはという感じでした。難しい問題だったのかなと思って勉強させていただいてという感じでした。すみません。

(会長)

全然そんなことなく、やっぱり●●さんが現場の事情だとか、現場の雰囲気伝えてくださったからそれをもとにして考えるっていうのは会長としての原点だったので、とても貴重な意見をいただいたというふうに私は思ってますし、●●さんも●●さんもこういう場は、嫌いなものよねっていうけど、そういう人を集めたほうがいいですよ。もう会議大好きっていうそういう人は、大体もうここがメイン会場であって全然役に立たないんですよ。

(委員)

いいですか。みんなで決めた学校との連携ってことなんですけど、私ねやっぱりやってみて、自分もわからなかった部分だし、やっぱりやってみて面白かったなと思ってます。とてもいいテーマだなって、今更、今更ですけれども。よかったなと思うんですよ。で、この2年間で終わらせるっていうのはやっぱりなしにしたいねってぐらい思ってるんですよ。これはすぐに結論が出ない結論が出せないテーマだと思うんで。問題提起としてはとても良いと思うんで、できれば継続テーマっていうことで10年でもずっと恒久的なテーマとしてやったらいいのかなって。みんなで、思い続けながらやってくっていいんじゃないかなと思いますよね。やっぱり繋がってた方がいいのは事実ですよ。今、学校から図書館のシステムに接続できないって伺って

(会長)

何のためにタブレットを持たせるのかなと

(委員)

だからそういういろんな問題があるのがわかってきたもんだから。これから解決しようという方向にもっていこうと二年間で提言した、その気持ちずっと持ち続ければ、繋がってくるんじゃないですか。なんてちょっと思ったりはしました。

(会長)

議事録見ると、平成24年ですから2012年ですかね。10年前にやっぱり市立図書館と学校図書館等の連携について言われてるんですよ。問題点だなって感じられてはいるんですけど着手はされてない。今の●●さんのお話、持続的継続的にやることも大事な事だということですよ。

(館長)

すみません。私もちょっとしゃべらせてもらっていいですか。言い訳みたいになっちゃうと思

いますけど、確かに会長がおっしゃる提言の答えが出てないって言われちゃうとその通りだ
と思うんです。で、私はかなり勉強にはなったんです。図書館協議会って諮問答申だけではな
くて、館長への意見を出してくださいっていう場でもありまして。その中で、学校連携で今回
図書館の視察ができたっていうのも、図書館協議会がある程度学校に認められたからこそ、ど
うぞお入りくださいっていうふうになったと認識してるんですね。で、学校連携の本当入口ま
できてるので、今後結果を出していきたいなと思ってますので、提言を無視したとかそういう
わけじゃなくて、学校に、図書館協議会という位置付けをまず理解していただいた中で、仲間
がどんどん増えていくことによって、寺子屋さんみたいに直接に図書館と共同作業みたいな形
もできますので、この後ちょっとお話しようかなと思ってます、図書館プランに書いたんです
が、学校サイドの方もかなり動きが出てまして、引き続きちょっとお話しさせてもらってもよろ
しいですかプランの方ですね。

(会長)

はい。

(館長)

前協議会からの答申を受けまして実行プランを作成し始めました。今の協議会から学校連携と
いう提案をいただきまして、それを盛り込んだところがありましたので、まず17ページのブック
バスが写ってるところを見ていただきたいと思います。ブックバスの有効利用というか学校の
先生方が、隔週じゃなくて毎週来て欲しいという小学校が起きまして。来年、4月から毎週1
回伺うようになりました。もう一つですね、教育保育施設幼稚園と保育園の私立保育園も含め
て、そこにですね、司書が増えましたので、司書が推薦する本をお届けする「おとどけパック」
という名前でご本をなかば強制的になるかもしれませんが、現場の先生方から助かりますとい
う言葉が出てます。それをですね、本格実施すると。またもう一つはゆうパックですね。図書
館もですね、これも案ですけども、来るのを待ってるんじゃない方への対応とかサー
ビスとか、そういったものをやっていきたいと思っております。この後室長に話してもらいま
す。

(室長)

これは、熱海市と日本郵便との包括連携協定というのが築かれましてそれに基づいた事業です。
企画課から提案がありましたので、郵便局の配送業務を使った図書の貸し出しシステムを検討
してきました。これは、図書館に来れない方とか、ブックバスまでも来れないような、後期高
齢者の方が対象になるかと思えます。そういった方を対象に、インターネット使う方じゃない
と難しいんですけど、インターネットで予約したものを、図書館側でコンテナボックスに詰め
てそれを郵便局さんに配送していただく、読み終わったら郵便局に電話をするとそれを取りに

行ってもらう、っていうシステム作りをしております。来年度の予算で試行的にやりたいんですが、対象者を募集しましてその方たちからアンケートをとって、その翌年度本格実施に向けた動きを進めていきたいと思っております。ちょっと本格的な実施になるかわからないんですけど、来年度6ヶ月ぐらいのテスト期間を設けて行きたいと。

(会長)

いいんじゃないですかね。ただ、いいなと思う反面、やっぱり高齢者対象の事業ですよ、高齢者とか障害者の方への対応は市立図書館の活動としてはいいですよ。どうしてもそういう方向はもちろん無視できないし、そういうのを強化していかなきゃいけないというのはわかるんですけど。年齢層でいうと、やっぱり若者がいつも後回しにされてるっていう印象をずっと持ってるんですよ。

(委員)

今の話、学校との連携って確かにこの協議会でやってる大きなテーマですけど、図書館は、教育とだけやってるわけじゃなくて図書館全体として動きとしては、高齢者向けもいいんだと思うんですよ。だから、いろんなことをやるべきでありますんで、若い人たちのことはさておいてという意味じゃなくて並行して、これやりながらやるっていうのはとてもいいことだと思うんですよ。

(館長)

はい。いいですか。すいません。19ページご覧ください。真ん中ほどの初島と富士山と載ってるものです。学校の過密スケジュールの中で、図書館に来る学校が3・4校あるんです。熱海の歴史を後世に伝える、熱海の歴史を学ぶフィールドワークという形で。まち歩きガイドさんが、図書館だけじゃなくて、熱海の町ってこんなところもあるよっていうような話を、子どもたちの前でお話しただけになればなっていうイメージでこの実行プラン書いてるんです。そんなこともありまして、ぜひまち歩きガイドの方と今後連携していきたいなというふうに個人的に思っています。

続きまして21ページのすいません。中期プランの上の方に郷土資料のデジタル端末という形で、子どもたちがタブレットを何のために使ってたって。熱海大火の出火の写真とかデジタル化されているんです。子どもたちがタブレットを持ってるならば、それを持ってまち歩きをしてその現場でこれを開いてっていうような、タブレットを有効利用していただきたいなと思ってまして。そういう思いがありまして、この実行プランに書いております。ですから本当に結果が出てくるのは今後先なんですけど、そういった形でいろんなことを教えてもらっている中でできるものを抽出しながらこれ書いたつもりであります。実行プランについては令和5年度から一応ですね、これも教育委員会定例会でお話をした後、意見をもらわなきゃならないんですが、

4月から実行していきたいと思っております。教育委員会の順序立てがありますので、なかなかこれを飛び越すわけにはいきませんので、ご説明した後、学校にも納得していただきながら、図書館の持っている資料と学校連携がどういう形でできるかを、考えながら対処したいなと思っています。今後結果出てくると思っていますので、よろしくお願いいたします。以上です。

(会長)

館長、欠席の委員の意見をお願いします。

(館長)

今日は県の会議と重なってしまいまして皆さんと最後のお別れができなくて残念だと。三つほど館長並びに協議会の方にお伝えして欲しいというかたちで。まずこの実行プランの進行管理に関しては、書いてありますPDCAサイクルをしっかりと管理をし、3ページの実行プランの進行管理というところですよ。外部点検としてPDCAサイクルそれをちゃんと図書館がやるかを、図書館協議会における意見等を踏まえながら進行管理をするという、図書館が勝手にやってるのではなく、協議会の意見をもらいながら、だんだん良くなってください、というようなことをいただきました。2点目はですね、伊豆山資料館や神社、起雲閣の施設等との連携を考えてください。これには生涯学習課の方で、文学的な施設等を連携してやっていこうというその中に図書館も入ってきますので、縦割り行政では意味がないので、連携していくこともやっていきます。最後にですね、誰が見ても図書館であることがわかる外観展示っていうかたちで、今、來宮神社すごい人気で、図書館の前をお客さんがそろそろ歩くんですが、ここが図書館っていう、熱海の資料を展示してるということは全然わかりません。図書館というよりも、誰もが気軽によって勉強できるような、そういう施設をつくっていただけませんかというのは委員からのお話でしたので、そこはなかなか難しいですがやっていきますとお答えしました。

(委員)

今、面白いなと思ったんだけど、普通の商売というところって、デジタルサイネージって結構使ってるじゃないですか。もう駅前商店街なんてすごいですよね、図書館はそういうの、やってらっしゃらないんだなあと思って。

(会長)

それってのぼりを立てるのとどう違うの。そういう予算だったら、のぼり立てるほうがよっぽど安いんじゃないですか。

(委員)

値段だけじゃなくてやっぱ効果ですよ。

(館長)

デジタルサイネージの部分っていうのは、観光との連携という形になると思うんですが、そう

いったところから予算を取れば理想で、観光情報を出しながら、その間に図書館のPRも入れるようなサービスがそうですね、多分大きな予算がかかるので、図書館としてはここで設置してもいいですよ、っていうのを許可するぐらいになるかと。

(会長)

今日も図書館来た時、何か随分貴重な資料が随分粗末なスペースの中にあるなって思いました。やっぱり、もしやるなら1部屋それにとってやるぐらいのかなり貴重な資料ですよ。

あともう5分ですけど、何かおっしゃりたいことがあればいかがでしょうか。

ちょっと最後井戸端会議みたいになっちゃいましたが、でも、そういうものの方が、実は効果があるんだなと考えてますので、こういう協議会をやらせていただきました。よろしいでしょうか。皆さん2年間ありがとうございました。

(一同)

ありがとうございました。

(室長)

これで本日の協議会を閉会いたします。寒い中、ご参加いただきありがとうございました。お疲れ様でした。